

総務涉外委員会事業計画

総務涉外委員会 委員長 篠原 寛太

一人ひとりがLOMのブランドを作るという自覚と、LOMの外部で得た知見を我々の運動へ還元する姿勢が重要となっている今、規律や脈々と受け継がれた教えの定着と、未経験の場へ踏み出す意識の向上が求められています。新たな体制で展開する運動への理解の獲得と、関係諸団体や先輩諸兄姉との関係の深化に加え、前年度の運動への想いを原動力とした今年度の運動に対する新たな決意のもと、未来に向けた信頼関係構築が必要です。

まずは、組織としても個々人としても魅力を備える団体としての認知向上のために、一年間の運動方針を強く打ち出した新春賀詞交歓会を開催することで、関係諸団体や先輩諸兄姉から、運動に対する理解と共感を得て地域における存在感を高めることができます。そして、前年度の運動に込められた想いを継承していくために、一人ひとりが総会出席の重要性を自覚し、厳粛な場として総会を開催することで、運動の成果がLOM全体へ共有され、本年度の運動の糧とすることができます。さらに、本年度の運動の中間報告と次年度の新体制発信のために、運動にご支援いただいた方々へ感謝を伝え、次年度への躍進を誓う総会を開催することで、次年度に展開される運動への期待が高まり、未来につながる信頼関係が構築されます。また、出向に対して内向きなメンバーの意欲向上と、地域の未来を切り拓く人材となる契機創出のために、諸大会等における事業構築に有効な事業や参加方法を提案するとともに、メンバーの目に触れる場で学びをアウトプットする機会を設けることで、出向や諸大会等の学びの場に積極的に参加する人材を増やすことができます。

運動への共感を契機に連携を強化する関係諸団体が拡大し、一人ひとりがLOMの一員としての自覚をもち、不斷の学びを重ねた我々は、ガバナンスが強化された環境下において過去の運動の想いを承継しながら、時代に先駆ける運動を展開する基盤が強化されます。

<事業計画>

1. 一年間の運動方針を強く打ち出す新春賀詞交歓会の開催
2. 厳粛な総会の運営
3. 次年度への躍進を誓う総会の運営
4. 学びにつながる諸大会への参加推進